



【令和6年度補正予算（案）50 百万円】

ESD推進のため、大阪・関西万博において、子ども・若者に向けた効果的な情報発信・学びの場を提供します。

1. 事業目的

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝くみらい社会のデザイン」に沿って、若者・子ども向けのこれまでの環境に関する知恵を継承し、未来を考える場を提供するためのコンテンツを作成する。

2. 事業内容

大阪・関西万博では、子ども・若者向けのESD施設「サステナドーム」において、環境問題、SDGs全体について子ども・若者が考え、国際交流しつつアウトプットする場として、各種プログラムを提供することとなっている。この枠を用いて、専門家や若者とともに今後のあるべき未来について考える場を提供するため、会期前にコンテンツ作成や事前学習、探究学習の時間を活用したプログラム作成を行うものである。

＜コンテンツの例＞

- 国内と海外の若者の協働による、アジア地域における環境課題を解決するための合同ワークショップの実施及び動画、映像等コンテンツの制作。
- 東日本大震災や能登半島地震の被災者となつたり、震災の経験を継承するとともにこれからの未来を考える場を提供するための動画、映像等のコンテンツ制作。
- 国連大学と協力し、ESDの国際的な取組であるESDに関する地域拠点（RCE）や環境大学院ネットワーク（ProSPER.NET）を活用し、社会の持続可能な未来に向けた情報発信を行うための動画、映像等のコンテンツ制作。

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和6年度

4. 事業イメージ

